



みみの記念日 3月3日耳の日 6月6日補聴器の日 9月9日人工内耳の日

地震・豪雨・猛暑・逆走台風



気象異変＜6月・7月＞が相次いでおります。当センターでは安否確認システムを独自に開発、実行しておりますが、自助・共助・公助それぞれの段階に応じて災害を乗り越えましょう。

地震 6月18日(月)7:58 大阪北部地震 震度6弱 マグニチュード6.1 都市直下型地震
7月9日(月)3:53 佐賀県南部 県内震度3 マグニチュード4.1

豪雨 7月6日(金) 県内に数十年に1度の規模の災害が迫っているとして気象庁から大雨特別警報発令、18市町村に避難指示、勧告

7月7日(土) 広島、岡山、愛媛など西日本各地で大被害

◇記録的な豪雨による本流からの逆流で、支流の堤防が決壊し氾濫。大規模な地域で被害が広まった。積乱雲が同じ場所で次々と起こるバグビルディング現象が発生し、同じ地域での豪雨が集中。

猛暑 7月9日(月)に九州北部梅雨明け宣言が出されて以来、連続17日(7月26日まで)記録的猛暑。

7月26日佐賀市37.8度 気象庁が1961年統計開始以来7月中旬以降の平均気温は最も高い。

◇日本列島に2層のダブル高気圧が覆い、フェーン現象も発生、関東地方では40度超え。

日本のみでなく、アメリカ・アフリカ・ヨーロッパでも猛暑。

逆走台風 7月28日(土)～29日(日) 台風12号は本州を東から西へ逆走。佐賀・福岡県境付近を通過。地震は別としても豪雨・猛暑は地球温暖化進展によるものとして、洪水と健康リスクが高まっています。

安否確認システム実行

7月9日(月)の地震発生に伴い、午前5時佐賀市以東の72名にシステムを実行。安否回答の早いのは5時9分に返答があり、全体としては4割から返答がありました。



「避難準備」「避難勧告」「避難指示」の違い

台風や集中豪雨などの災害時、人に被害が発生するおそれが高まった時、市町から「避難勧告」等が発令されます。発令される種類は3種類あり、緊急性や避難の強制力は、避難準備→避難勧告→避難指示の順に高くなります。

新中手話通訳士講演会 7月10日

手話通訳士として国際会議や災害時支援等を約40年間対応されてきた日本手話通訳士協会前理事で横浜市在住の新中さんのこれまでの経験に裏打ちされた研修会がありました。

県・市町・社協の障害福祉、防災担当者、手話通訳者等40人が参加しました。ちょうど西日本豪雨の直後でもあり、災害時対応の困ること、願っていることについてのポイントを説明されました。

(1) こんなことに困ります。

- ・防災無線や広報車、館内アナウンスの音がきこえません。
- ・テレビに字幕、手話がないと災害の様子が分かりません。
- ・外見から見て聞こえないことが分からないので、「声をかけられても知らん顔をしている」と誤解されることがあります。
- ・夜間停電になると、手話や筆談で話すことが出来ず、とても不安です。

(2) こんなことを願っています。

- ・手話ができなくても、筆談や口をゆっくり動かして情報を伝えて下さい。
- ・避難の時、聞こえないらしい人を見つけたら、誘って逃げて下さい。
- ・アナウンスの内容を紙に書いて、すぐに掲示板などに貼り出してください。
- ・相談受付等と一緒に行ってください。
- ・テレビに字幕と手話を表示する「アイ・ドラゴン4」を避難所や公共施設に置いてください。

なお聴覚障害者のそれぞれの特性と対応については、別途掲載予定です。



シリーズ (9) 山口相談医のひと言コメント



「伝音性難聴」

耳たぶ(耳介)から耳の穴、外耳道、鼓膜、鼓膜の内側の中耳(耳小骨)に至るまでが、伝音経路です。この経路のどこかに問題が生じると、音の伝わりが悪くなるため、聞こえの神経には病的な問題がなくても、聞こえ方が低下する可能性があります。これが伝音性難聴です。

原因としては、耳垢が詰まる、外耳道に異物がある(綿棒から脱落した綿花や、子供さんでは消しゴムやBB弾など)、外耳道に腫れがある(炎症やできもの)、鼓膜に穴が開いている、鼓膜や中耳に炎症がある(急性中耳炎、滲出性中耳炎など)、鼻と鼓膜の内側とつながる(耳管)の働きの低下、真珠種が出来ている、外傷(耳かきでの事故も結構あります)、耳小骨に異常がある、などがあります。

意外と多いのが、耳垢によるもので、ご高齢の方が「年のせいだろう」と勘違いされていることもあります。取り除くと「よく聞こえるようになった」となりやすいものです。一方で、鼓膜穿孔や、耳小骨の異常、真珠種の場合は「完全に元どおり」とはいかないこともあります。

このように伝音性難聴では、各々の治療をすることで、物理的な音の伝わりを改善できるので、聞こえ方を改善できる可能性があります。まずは耳鼻科に相談してみてください。

●●講座 修了式●● 学生ボランティア講座 (7月11日)

これをスタートに
してください。



6月13日開講、今年は梅雨の合間で全5回スムーズに修了しました。手話23名、要約筆記3名、字幕6名。

みみサポーター養成講座 (7月14日)



6月9日開講、人工内耳当事者から難聴者の心理や補聴器体験、場面別の対応など実践的な全3回のカリキュラムを修了しました。

編集後記:「今日も暑いですねー」から会話がスタートする毎日です。(M.J)

全国通訳士協会の新中前理事が7月10日に研修会講師として来佐された折に、幕末明治維新博のメイン会場を情報保障の立場から視察された時のアドバイスです。



□館内通路照明

通路に傾斜している所があり、スタッフが声掛けしていましたが、暗くなければ少しは安全かと思いました。

□字幕

・Actの作り方が、そもそも聴覚障害者が見ることを考えられていないようなので後付けの字幕では十分楽しめないと思います。特にAct3のラウンドシアターは後ろからの声や映像に注意するのは困難です。せめて180°で展開できれば、皆が楽しめるのではないかと思います。

・Act2の字幕の画面が小さく、その文字を読むとActが見られないのではないかと思います。

□企画段階

企画段階から聴覚障害者や様々な人が楽しめるよう工夫してほしいです。手話や手話通訳を取り入れるよう検討してほしいです。当事者の声を聞き、少しでも改善することを希望します。

伊万里(6月26日) 三瀬(7月25日)

伊万里に10名、三瀬に1名が来られました。耳鳴りや補聴器装用に関する悩みを聞き、簡易聴力測定を実施しました。

馬渡島(8月2日)



初めての離島での相談を、馬渡島診療所で実施。野生のヤギが住む人口約400人の馬渡島。島の高齢者、聴力低下は当然ありますが、周囲の人たちの優しい対応があるから困り感はなく、補聴器の必要性にはつながらないですね。

みみよりなお知らせ!に好評掲載の

◇聴こえの仕組みシリーズ

◇補聴器シリーズ

◇山口医師のひと言コメント

平成30年7月分までを冊子にまとめました。



巡回聴こえの相談>>

8月28日(火)午前10時~午後3時

会場:三瀬支所(要予約)

9月26日(水)午前10時~午後3時

会場:基山町役場1階(要予約)



医師相談>>

8月25日(日)午前10時~12時(要予約)

佐賀県聴覚障害者サポートセンター

〒840-0826 佐賀市白山二丁目1-12(佐賀商エビル4階)

TEL:0952-40-7700 FAX:0952-40-7705

メールアドレス:info@saga-mimisapo.jp

ホームページアドレス:http://saga-mimisapo.jp/

<開館時間>

9:30 ~ 18:00

<閉館日>

毎週月曜日、祝日、年末年始